

平成 29 年度事業報告（平成 30 年 3 月 31 日時点）

【評議員の状況】

氏 名	職 業	他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務	評議員会への出席回数
島崎 執一	司法書士	無	1
富田善三郎	天草市監査員	無	1
久保山義教	無職	無	1
玉城 淳子	フラワーショップ経営	無	1
北 得美子	コンビニエンスストア経営	無	1
赤木 武男	天草市市議会議員	無	1
濱 仙明	無職	有	1

【評議員会の開催状況】

開催年月日	出席者数		
	評議員	理事	監事
H. 29 年 6 月 13 日	7 人	6 人	2 人

【理事・監事の状況】

職 名	氏 名	職 業	理事会への出席回数	報酬の有無
理事長	酒井 保之	医療法人啓正会理事長	4	有
理事	渡邊 英人	社会福祉法人育成会理事長	4	有
理事	宮崎佐知子	無職	4	有
理事	平田 靖人	無職	4	有
理事	岡部 守信	社会福祉法人三心会理事長	4	有
理事	松浦 郁太	南海寮施設長	4	職員給与のみ
監事	原田 龍雄	(株) フジコー会長	4	有
監事	森 孝	無職	4	有

【理事会の開催状況】

開催年月日	出席者数	
	理事	監事
H. 29 年 5 月 30 日	6 人	2 人
H. 29 年 6 月 13 日	6 人	2 人
H. 29 年 11 月 24 日	6 人	2 人
H. 30 年 3 月 23 日	6 人	2 人

【職員の状況】

①障害者支援施設 南海寮

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長	1		1			0.8
サービス管理責任者	2	1	1			1.9
看護師	1	1				1.0
生活支援員	37	25	4	8		36.6
管理栄養士	1	1				1.0
調理員	7	4		3		6.5
事務員	3	3				3.0
用務員	7			7		2.2
合 計	①59	35	6	18		53.0

②南海寮グループホーム事業所

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長	1		1			0.1
サービス管理責任者	1		1			0.1
生活支援員	4		4			1.0
世話人	4			4		2.2
宿直専門員	2			2		1.2
合 計	12	0	6	②6		4.6

③相談支援事業所なんかい

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長	1		1			0.1
相談支援専門員	1	1				1.0
合 計	2	③1	1			1.1

法人全体総職員数 (①+②+③)	66名
------------------	-----

④職員の年齢 ※法人全体

	10代	20代	30代	40代	50代	60～64	65歳～	計
男性	0	7	8	3	2	2	5	27
女性	0	8	6	13	5	4	3	39
合計	0	15	14	16	7	6	8	66

⑤職員の経験年数 ※法人全体

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計
男性	2	5	3	8	4	1	4	27
女性	6	5	8	9	4	3	4	39
合計	8	10	11	17	8	4	8	66

⑥資格取得状況（国家資格）

介護福祉士	17名
社会福祉士	3名
保育士	4名
看護師	2名

⑦職員の退職・採用状況

職種	退職	採用
支援員	3名	6名
調理員	3名	2名
用務員	3名	1名
合計	9名	9名

【利用者の状況】

①利用者現在員

	平成29年4月1日	平成30年3月31日
施設入所支援	59名	60名
生活介護（通所）	28名	28名
自立訓練（通所）	3名	2名
グループホーム	13名	12名
合計	103名	102名

②施設入所者・グループホーム利用者の入退所（居）状況

サービス種別	入 所	退 所
施設入所支援	3名	4名
グループホーム	0名	1名

③利用者の年齢 ※通所S＝通所センター、GH＝グループホーム

	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
入所	0	2	9	3	15	25	6	60
通所	1	4	4	2	0	0	0	11
通所S	2	7	7	1	1	1	0	19
GH	0	1	2	1	2	6	0	12
計	3	14	22	7	18	32	6	102

④利用者の障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
入所	0	0	1	10	18	31	60
通所	0	0	1	5	2	3	11
通所S	0	1	2	4	5	7	19
GH	0	0	3	3	6	0	12
計	0	1	7	22	31	41	102

⑤サービス種別毎の利用実績

サービス種別	利用定員	開所日数	延べ利用者数	平均利用者数
施設入所支援	60名	365日	21,429人	58.7人
生活介護	85名	269日	23,570人	87.7人
自立（生活）訓練	6名	249日	464人	1.9人
短期入所	5名	355日	1,048人	3.0人
グループホーム	13名	365日	4,544人	12.5人

⑥計画相談支援実施状況（件数）

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用計画	13	16	29	17	6	3	4	12	5	1	4	11	121
モニタリング	3	7	11	5	4	16	3	3	8	11	3	6	80

【主な事故発生状況】

事故の種別	件数	病院受診件数
転倒	5	4
転落	3	2
怪我	1	1
熱傷	1	1
他害	2	
無断外出	1	
不明	1	1
合 計	14	9

【苦情・要望の状況】

内 容	利用者	家族	その他	計
支援の内容について		1		1
施設側の対応について		1		1
職員の対応について				
合 計		2		2

【主な修繕・施設整備】

- ◎ふれあい棟1階 居室 内装工事（居室クロス貼替え、カーテン取替え）
- ◎ふれあい棟1階 居室 畳表替え
- ◎ふれあい棟1階 居室 エアコン取替えと購入設置
- ◎ふれあい棟1階 トイレ改修工事
- ◎寮道側溝工事
- ◎寮道入口サイン壁工事（看板）
- ◎南海寮本館 東側物干し用オーニング設置工事
- ◎南海寮本館 内部掲示板、PR、スクリーン、テレビハンガー設置工事
- ◎南海寮本館 外部階段踊場 管理用扉設置工事
- ◎南海寮本館 1・2階ホール壁面収納家具設置工事
- ◎外構、L型擁壁、防草コンクリート、物置基礎工事
- ◎外構、アスファルト舗装工事

【総括】

平成 29 年 4 月 1 日、社会福祉法人制度改革に伴う改正社会福祉法が全面施行となり、改正の柱であるガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等の対応を実施。具体的には議決機関としての評議員会の設置と選任、役員の選任、定款他諸規定の変更や整備、財務諸表等の情報開示（福祉医療機構、全国社会福祉法人経営者協議会、自法人ホームページ・広報紙を活用し公表）を行ってまいりました。財務規律の強化として、今年度より施行された社会福祉充実残額の算定（社会福祉充実計画の策定）については、平成 28 年度決算において、再投下対象財産は残りませんでした。社会福祉法人に求められている地域における公益的な取り組みに関しては、具体的な取り組みとして実施する事ができなかったため、平成 30 年度への課題として引継ぎ、積極的な実施に取り組んで行かなければならないと思っております。

また、近年難渋している人材確保についても、新規採用者の確保、人材育成、処遇改善、資格取得の促進等に取り組んできました。引き続き平成 30 年度以降もサービスの質の向上と組織力の向上を図るため、人材確保・育成・定着に注力していきたいと思っております。

平成 29 年度の大きな事業として、南海寮本館の建替え工事（熊本県障がい者福祉施設整備費補助金事業）があり、財産処分や建物登記、借入金資金交付請求等の事務処理をはじめ、設計・施工に係る最終調整や打合せ、本館への引っ越しとその後の対応等、振り返ってみれば激動の 1 年でありましたが、利用者をはじめご家族、国や県、施工・設計業者、関係各位のご協力を頂き、当初の計画どおり竣工を向かえ、無事に落成式を執り行うことができました。

建物等のハード面はほぼ整いましたので、今後はソフト面の充実が課題です。リニューアルした建物を活用した、新たな事業展開、新生南海寮の歴史を一步ずつ作り上げていく責務があるとの認識を共有しながら地域貢献・公益的な取り組みの強化、業務の見直し・改善改革、個別支援体制の充実、人材確保・育成・定着等を図り、地域に必要とされ、信頼される存在感のある法人・施設を実現するためのステップアップをしていきたいと思っております。

◎障害者支援施設 南海寮

本館建て替えに伴い、通常の活動が制約された中での生活を余儀なくされました。年間行事において施設を会場とする事業は開催が困難であり、ドライブや買い物等の外出を多く取り入れ楽しんで頂きました。日中活動ではひまわり棟におけるリハビリやレクリエーション、手芸品等の制作はふれあい棟 1、2 階ホールにて行い、農作業では花苗の生産のみ実施しました。さくら棟では旧館ホールにてリハビリや身体運動、ストレッチ、レクリエーション等を実施し、合同の活動等は食堂を利用しました。11 月新館引っ越し後も旧館や仮設棟の解体工事及び、運動場や寮道等の外構工事が引き続き行われ、2 月竣工迄は年度当初から変わらず施設内での活動を中心に行いました。

引っ越し後は利用者さんにとって新たな設備や 2 階建ての環境等に不安がありましたが、すぐに慣れる事が出来、広く快適な居住空間や整った共有スペースにおける日中活動を楽しまれている状況です。

新たな環境における支援体制として、業務手順や利用者編成、各委員会活動等について協議、見直しを重ねながら支援サービスのソフト面の充実にも着手しています。

◎南海寮グループホーム事業所

グループホームみなみ（男性入居者6名）、グループホームたんぼぼ（女性入居者6名）に合わせて12名の入居者が利用されています。

夜間は当直者、土・日曜の日中活動には支援員を配置し、昼夜を通して安心、安全とサービスの向上を図っています。また、月々施設長、サービス管理責任者、担当支援員、世話人、当直者、看護師によりグループホーム担当者会を開催し、入居者一人一人の健康状態や課題点等を協議し早期対応を図ると共に、快適な住環境の提供等、様々なテーマを話し合っています。

◎相談支援事業所なんかい

5年目を迎え、新規2名、契約終了5件（死去3件、福祉サービスの利用終了2件）、計画相談121件、モニタリング80件であった。利用者、家族の高齢化、親亡き後を考え、施設入所、短期入所を検討される方の相談が増え、申請、事業所の見学、計画の作成、サービスの利用へと繋げ、本人、家族が安心して利用できる場所を見つける事が出来るように、事業所への情報提供、協力もお願いしました。

しかし、利用者、保護者の気持ちを十分に把握する事が出来ず、福祉サービスの利用が中止となり、契約終了となるケースもあり、今後も利用者、家族の意向を把握できるようなスキルアップが必要であると考えています。

研修に関しては、熊本県と、県央で定期的に開催される障がい者相談支援事業連絡協議会や、天草市の自立支援協議会計画相談部会へ積極的に参加し、スキルアップ、情報収集、他事業所、行政との横の繋がりを持ち、困った時に相談を出来るような関係作りを行いました。